

社会教育だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori

第319号
 編集・発行
 聖籠町教育委員会
 町民会館
 社会教育課
 ☎0254-27-2121
 図書館
 ☎0254-27-6166



山倉小学校キャップアート 「ECOとLOVE」

14,400個のペットボトルキャップが魅せた一大アート。
 たくさんの人を楽しませてくれました。

文化祭・芸能歌謡祭



11/2~3
 火~祝

美と芸能の競演

12月

町民会館休館日 6日、13日、20日、27日、28日、29日、30日、31日
 トレーニングルーム休館日 ... 6日、13日、20日、27日、28日、29日、30日、31日
 図書館休館日 6日、13日、20日、23日、27日、28日、29日、30日、31日



酷暑の頃から到来を待ちわびられた 秋来たる



文化に芸術に

秋を満喫

目の前にある一片の作品。作者の汗や情熱が凝縮されたそれぞれが集まって、アリーナを「美の回廊」に変えました。
また、週末体験クラブで子どもたちが練り上げた陶芸作品や写真、ジュニア絵画も、回廊の一面を彩ってくれました。



10/17
(日)

小さな冒険 大きな満足

町内オリエンテーリング

冒険心は子どもたちだけのものではありませんが、旺盛さでは敵いません。この日、小学3年生〜6年生の冒険者50人が集まりました。

町内9つのチェックポイントを回り、問題を解いたりニースポーツを体験しました。最終地点はいつもの「さぶーん温泉」。

みんなお疲れさま！そして笑顔をありがとう！



いつもお父さんがするの見てるけど...



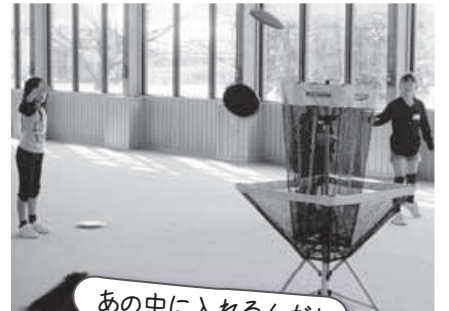
弁天湯に吹く風の中で



疲れはないよ へっちゃらだよ!



大野家って町の文化財だって!



あの中に入れるんだ!



さあ、お風呂だ!



ここはぶどう園だよ



『第38回 聖籠町PTA 連絡協議会研究大会(講演会)』 開催のお知らせ

演題 「子どもが不適応を起こさないために家庭や学校で取り組むべきこと」

講師 早稲田大学総合科学学術院教授 河村茂雄 様

聖籠町PTA連絡協議会では、町内の児童・生徒の健全育成を目的として、毎年研究大会を実施しております。今年度は、聖籠中学校で行われる「他者とかかわる力や規範意識等の社会性を育成する取組の中間発表」の講演会を、町PTA連絡協議会が共催することになりました。

講師の早稲田大学教授河村茂雄教授は、「Q-U」アンケートの開発者として、全国的に大変有名な先生です。聖籠町では、平成21年度より多忙な河村教授にたびたびおいていただき、「Q-U」アンケートの結果を基に、様々なご指導をいただいております。

講演では、全国各地の学校とかかわっておられる先生から、豊富な事例に基づき、具体的に、楽しくも示唆に富むお話が聞けることと思います。

PTA関係の方はもちろん、一般の町民の皆様も入場無料です。どうぞふるってご来場ください。

☆とき：平成22年12月10日(金)

☆場所：聖籠中学校 体育館

※時刻：午後3時25分〜午後4時55分

(受付は2時30分より)

※入場無料

○問い合わせ先：聖籠町PTA連絡協議会事務局

連野小学校

(教頭：武藤まで ☎27-2508)

聖山大学

11/10(水)
~11(木)

紅葉のみちのくを行く

そして心は童心へ

〜聖山大学修学旅行〜

初日
明治村 (宮城県登米市登米町)

仙台名物牛タンを堪能した一行は、現地ガイドの待つ明治村の門を叩きました。そこは120年ほど時間をさかのぼった、木の香り漂う明治の校舎。国の重要文化財に指定されている教育資料館です。そしてすぐ隣には小学校の鉄筋校舎。明治と平成が向かい合う不思議な空間でした。

続いて、水沢県庁記念館、警察資料館を訪ね、遠くだった明治時代に思いを馳せました。

それでは出席をとります!



バスの車中で過ごす時間が長かったので、ここぞとばかりに舞台へ繰り出した皆さん。歌の予約は途切れることがなく、踊りも加わって賑やかな夜が更けていきました。

♪舞台でなくても踊り出す♪



2日目

狛鼻溪舟下り (岩手県東山)

名勝の呼び名に恥じない溪谷を下りました。今年は珍しく、若い女性船頭さんの操船でした。風が冷たかったのですが、全身を使った棹さばきに、歌(追分)の上手さに、ふたりの子持ちという事実にも、皆さん感心しきりでした。

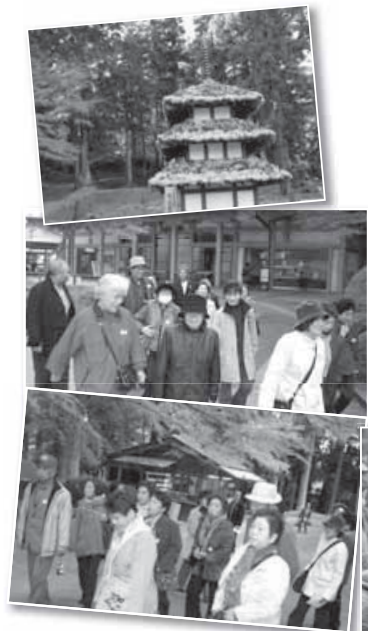


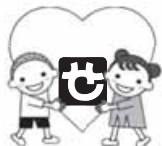
中尊寺詣で (岩手県平泉)

何者かがおわすような気持ちにさせてくれるものです。奥州で栄華を極めた藤原氏の夢の跡は、岩手に旅すれば欠かせません。

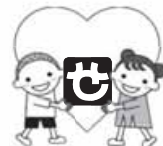
病にかかれば神仏に祈るしかなかった時代であつて、政治をあずかる者の両肩にはどれほどの重圧があつたことでしょうか。藤原氏は、この寺を中心とした仏国土を建設しようとしたのです。

厳かな気持ちを抱きながら、全員元気にみちのくを後にしました。





学校支援地域本部事業



ひろがる ふれあい みつける よろこび

10/15(金)
コーディネーター
視察研修

南魚沼市大崎小学校 訪問



大崎小学校を訪問いたしまして印象的だったのは、学校が地域と一体となりコミュニティの体を成していることでした。加えて役員の方々の情熱と事業に対する活動が先覚性に富み、かつ人間性豊かで、正に「これぞ支援本部事業のモデル的存在」と感銘を受けたところでもあります。

教頭先生はじめ、地域コーディネーターの手厚いお持て成しをいただき感謝するとともに、参加者全員が視察を糧にと決意を新たにしました次第であります。限られた時間の中で本当に実り多い意義ある一日でした。



スタッフルームで情報交換

聖籠中・山倉小での「サポーター」活動の様子です。

10/30(土)
聖籠中学校

聖中フェスティバル



ただいま
巡回中!

さて、今年はどんなかな?

11/10(水)
山倉小学校

6年生 社会科授業



講師に長谷川栄作様(95歳)をお招きして、戦争体験を話して頂きました

地域の皆様の声を大切に事業運営に取り組んで参りますので、是非お気軽にご意見をお寄せ下さい。

問い合わせ：聖籠町学校地域支援本部

(聖籠中学校地域交流棟 町民ホームページ) ☎27-7085

(結いハート聖籠) ☎32-5818

地域コーディネーター：新保 利文・渡邊 彩・大倉 幸子

生涯学習推進計画審議会活動報告

ワーキンググループA

平成22年11月9日(火) 10:00~12:00

聖籠町は外国人にとって暮らしやすい町なのだろうか。活動中にそんな疑問が浮かんだことから、(財)新潟県国際交流協会を訪問しました。

実際に外国人の相談を受けている方から、どんな相談があるかや、彼らが日本で感じることなど示唆に富むお話をうかがうことが出来ました。

現在、英語・中国語・タイ語・インドネシア語・タガログ語の5言語に対応しているという事でした。

相談相手の立場に立つことを心掛けています。こちらの感情を入れないようにして話を聞き、自立した生活が出来るように支援しています。



ワーキンググループB

平成22年11月8日(月) 19:30~ 場所 「なごみの家」

施設利用登録団体・代表の方に「生涯学習推進計画策定」のための生涯学習施設について皆様のご意見をお聞きしたいと考えています。12月中にお配りしますアンケート調査にご協力をお願いいたします。

アンケート作成の様子



手作りコンサート ふるさと新潟の童謡を開催

童謡。それは日本が世界に誇れる文化です。童謡とは大人が子どものことを真剣に思つて創つた文学と音楽で、そうしたものを確立している国は他にありません。

日本の童謡で新潟県にゆかりのある楽曲を町内合唱団体ほか、ゲストを招待し、披露していただきます。

大勢の方のご来場をお待ちしております。

と き 平成23年3月21日(月)

午後2時開演予定

会場 聖籠町文化会館

入場料 500円

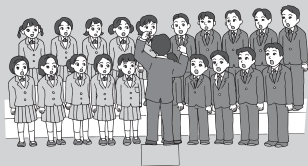
(平成23年1月15日(土)より町民会館窓口にて販売予定)

出演団体

せいろう少年少女合唱団
コーラス聖籠の杜
新発田高校合唱部

ゲスト

芹 洋子ほか



全国大会等出場激励金のご案内

町では、文化芸術またはスポーツ分野において、優れた成績を修めて全国大会等に出場される方に対して、申請により激励金を交付し、文化芸術及びスポーツ振興を図っております。

該当される方は町民会館へお問い合わせください。

11、12月に申請交付された方をご紹介します。(敬称略)

●国際大会

・稲垣 武人(次第浜) フェンシング
・渡邊 奏平(山倉) フェンシング

●全国大会

・神田 将(蓮潟) 陸上競技
・渡邊 和也(諏訪山) サーフイン
・水戸部雄大(真野) 陸上競技
・田村 昌大(次第浜) 高校野球
・坂上 奈千(二本松) 農業情報

●北信越大会等

・小林 未来(諏訪山) フェンシング
・神田愛里沙(蓮野) サッカー
・神田 珠里(蓮野) サッカー
・美本 悠海(亀塚) サッカー

週末体験クラブ
元気とりで

集い、遊んで、
調理まで出来ちゃう

～夕見台の亀代地区公民館を初利用～

10/16



おにぎりと焼きイモ 作りの巻

—蓮野小 山倉小 亀代小児童 合同参加事業—



できたてホヤホヤの、亀代地区公民館です。
運動場から見る夕日は、とってもきれいですよ。

週末体験クラブ、はじめての食べ物作り教室で、自分でにぎり、自分で食べる。おにぎり作りをしました。
一緒に参加してくれたお母さんは「普段、一個もやつと食べているのに二個も食べるなんて、自分でにぎると、きつと何倍もおいしいのね」と話していました。
この日、松ぼっくりを燃やして焼きイモも作りましたが、焼き上がる時間がなくて、半焼けイモとなってしまいました。
会場の亀代地区公民館には、和室や調理室、運動場までありました。広さも丁度よく、子どもたちに目が届き、安心して体験教室を実施することが出来ました。
焼きイモのおいしいニオイが包まれ、子どもたちの声が響き渡る晴れた秋の日の、亀代地区公民館でした。



作り方を教わっています



さすが女の子。
手つきがいい!



近くの防風林で
松ぼっくり拾い



でっか〜いイモ!



炊きあがったごはん

協力してくれた運営員の皆さんと保護者の皆さん。
炊きあげ作業と焼きイモの火の見張り番、ありがとうございました。

■週末体験クラブ12月の予定です (各会場とも 9:30~11:30)

※参加無料ですが、事前に申し込みをお願いします。

●お問合わせ
☎ 27-2121
町民会館/藤田・高松

サッカーで遊ぼう

●12/4(土) 山倉地区多目的運動場
※校区を越えての参加OK

とび出す年賀状

●12/4(土) 亀代地区公民館
3小学校合同





聖籠昔ばなし

今月は「狐の話」です。古浄瑠璃や瞽女歌の『葛の葉(子別れ)』として有名なお話で、全国にも「狐女房」などの題名で広まっています。



村に古いキツネがいた。もう真っ白い毛だらけのキツネが住んでい。村の人が相談して、「どうがしてあのキツネを捕りたいもんだ。」と言っていた。ある日、村中に触れて、その白いキツネを森の出口に追い込んだ。

キツネはたまたまお寺に逃げて、「助けてくれ！」と頼んだ。和尚さんが出てきて、「うん、うん、どうしたんだい？」と聞くと、キツネは「村の衆に追つかけて逃げ場がないから、どうか助けてください。」と言った。

和尚さん、「ああ、よしよし。」と、押入れの中に隠して。ところが村の衆が来て「和尚様、和尚様。たった今キツネが逃げて来たんだが、分がらねがねし」と言う。 「いやいや、そんなもの、なつて来ねがったな。」と和尚様が言う。



「いやいや、逃げて来たはずだ。そこら捜させてください」と村の衆が言う。 「いやいや、来ね、来ね。」と和尚様が言うので、村の衆は仕方ねで帰った。

キツネが喜んで、「ありがたかった。何してお礼しよう」と考えて、「和尚様には女子たちがねえもの、女子たちになつて、飯炊きして恩返ししよう。」と、だいた長いことい。 そしたら今度、キツネに子どもができて、しばらくして、「和尚さん、和尚さん、おれ子どもがきそげだすけ、どうかお産するど見ねてください」と言う。和尚様は「ああそうかい、そうかい、見ね、見ね。」と言うので、小屋掛けしてやつて、そこに住ませた。



和尚様は、見とで見とで、戸の隙間からそろつと覗いだ。すると、大きなキツネがお産して子どもを舐めて。和尚様に見られたキツネは、お寺にすることができねで、「もう恩返しもしもだし、森へ帰ることにしよう」と決心した。子どもを抱いて、乳飲ませで、口に筆をくつまえで、流れる涙を硯水にし、こす磨つてき、こす墨付けで、この筆をくつまえで、こす書き起こした。

※1 「いやいや、お前はいくらキツネの子だと言われても、障子だの行灯障子だの切ったり、兄弟の友なんか殺したりなどささなや」と。
(こしてはいけませんよ)

今度は、「和尚様にお願いで行こ」と思うで「どうぞ、この子にあのホウシヨウの玉置いで行くすかい、子どもが泣いたら、それを舐めらせてくれたせい。そうせば子どもはきつと黙るすかね。それでもまだ泣く時は、すもだ(信太の森 ※2)の森まで来てくだせ」と書置きして出かけて行ったださ。

和尚様は「なんぼキツネの子でもかわいいもんだ」と言ったださ。かわいがっていださ。



ある晩、子どもが泣いて泣いてしようねで、ホウシヨウの玉を舐めさせたら、なるほど、そんな黙ったださ。もう大丈夫と思うたら、また泣いで泣いで、どうしてもしようねで、今度はすもだの森へ出かげで行ったでば、キツネが出てきて乳を飲ませでくれたださ。

キツネは「もうこれで大人になる。大丈夫。大人になりますすけ安心してくだせ」と言うて別れていってしもうたさ。

※1

「チョウチョやトンボを押さえて食べるな、唐紙や障子を舐めて切るな、よその子をかまうな」などの語り方もある。どの地域の昔話でも、キツネの子どもに対する戒めを書き留めている。

2

大阪府和泉市の信太山にある森。葛の葉稲荷があり、信太のキツネの伝説地。

(作画：渡辺明公子)

Q… 全国で一番多く昔話が残っている地域はどこでしょう？

A… 実は新潟県なのです！ みなさん、ご存知でしたか？

昔話は農業とのかかわりが深く、農閑期やお祭りの折ごとに話されるものでした。かつては「節季ナンスの春ムカシ」(季節の終わりには謎かけをし、正月には昔話を語るものだ)と言われるくらい、身近なものだったようです。

さらに、瞽女の活躍が背景にあります。瞽女とは、鼓を打ったり、三味線を弾いたりしながら歌い、旅をして歩く盲目の女性芸人です。歌われた曲目は、民謡・流行歌・説教節など、そのレパートリーは幅広く、たくさん(せつな)の曲や話が伝えられました。瞽女は組織的に活動をしており、特に上越の高田や長岡の瞽女集団が勢力を誇っていたようです。しかし残念ながら、近年瞽女の継承者は途絶えてしまいました。



↑ 瞽女
通常2～3人で
組んで家々を回る。

余談ですが…キツネの話は越後にはたくさんあるのに、佐渡には全く見られないそうです。そのかわりにムジナの話が多くあります。なぜでしょう？
 これはおそらく、佐渡にキツネが棲んでいなかったことによるものと思われます。昔話って、案外、周りの環境にも左右されるものなんですね。

出典 … 『ぎつねの話』『聖籠町誌』(1978) 一部改変

主な参考文献：稲田浩一・小澤俊夫 編『日本昔話通観 第5巻 新潟』(1984) 同朋舎

日本民話の会『ガイドブック 日本の民話』(1991) 講談社

新潟市教育委員会『阿賀北(せと)げ唄集』(1975) 新潟市民俗資料調査報告書 等





地域と共に・・・ 聖中フェスティバル 2010

今年も地域と保護者、学校が連携・協働して創るイベント「聖中フェスティバル2010」が10月30日に開催されました。開校10年目の今年はこれまでと違い、

① 中学校の生徒会から発信し、地域の方や小学生、子ども園など幅広く呼びかけ、多くの人が来てくれるような活動とする。

② 地域の方、PTAと協力して進めていくことで、地域とのつながり、他者との望ましい接し方を学ぶ。

③ 生徒たちが運営に携わることで達成感、成熟感を持つ活動をする。

の3点のねらいを掲げて実施されました。聖中フェスティバルの当日は、心配されていた天気も午前中は何とか持ちこたえ、地域の方の出足もよく、あつという間に会場が人：人：人でいっぱいになりました。

生徒の意欲的な取り組みにより地域の方のお店が、12店舗以上カフェテリアに一齐に開店。遊び広場では、生徒たち企画のお化け屋敷やカラオケ大会、体育館では卓球大会やテレビゲーム大会など、活動できるものがたくさんあり、大勢の方々が楽しそうに参加していました。販売担当の生徒たちが声を張り上げお客様にアピールし、地域の方と交流している

姿も、とても生き生きとしていました。大勢の方々に足を運んで頂き、盛大のうちに終わることが出来ました。ありがとうございました。当日の各広場の様子です。

子ども頑張ってたっさー

また来年も行こうでー

うんめもん いっぺだったでー



体育館で<大抽選会>の説明する生徒会



聖中フェスティバルに向けて準備に取り組んでいる生徒たち



豪華賞品が用意された<大抽選会>



町のイメージキャラクターの緑丸と花ちゃんも駆けつけてくれました



何を買おうかな？迷っちゃうよ...



いらっしやいませ...いかがですか？



私たちが作ったものですが、いかがでしょうか？



地域の人と作った梅干しとさつま芋



地域の人と作った梅干しとさつま芋

お正月公民館まつり

昔の町並みが再現され、コマまわし・羽根つき・大かるた・お手玉・折り紙・もちつき大会・駄菓子屋など、とにかく盛りだくさん!!

- と き；平成23年1月9日(日)
午前9時から午後2時まで（受付は8時30分から）
- と ころ；聖籠町町民会館
- 参加対象；幼児から大人まで（小さなお子さんは保護者同伴で参加願います。）
- 募集人数；先着約150名
- 通行手形；三百両（300円）
（参加費） ※当日徴収します。
- そ の 他；お正月の雰囲気を出すために、着物での参加は大歓迎です!!
（ただし、大かるた大会に参加の皆さんは晴れ着にご注意ください。）

参加申し込みは12月7日(火)より 町民会館 (☎27-2121) まで

- 主 催；聖籠町公民館
- 共 催；聖籠町婦人団体連絡協議会
聖籠町青少年健全育成町民会議

冬期間
の

屋外施設の閉鎖と年末年始休館のお知らせ

施 設 の 名 称	閉 鎖 期 間
多目的屋内運動場（蓮野・山倉・亀代地区）	22年12月27日(月) ） 23年 1月 4日(火)
藤寄体育館	
総合体育館・トレーニングルーム 町民会館前テニスコート	
結いハート聖籠、亀代地区公民館	22年12月27日(月) ） 23年 1月 3日(月)
文化会館・公民館・図書館	
聖籠野球場・次第浜野球場・役場前テニスコート スポアイランド聖籠グラウンド	22年12月 1日(水) ） 23年 3月 (降雪状況により再オープン時期を定めます)
ふれあい広場のスケートボード演技台	

※ 町民会館前テニスコートは冬期間、ネットを管理棟に片付けますので、ネットの出し入れは利用者の方で行ってください。

今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品（平成二十二年十月）を紹介しします。

天高き近頃の空見事なり行き合いの雲夕日を浴びて
 東港の釣り船戻る魚箱に季節外れの真鯛鮮やか
 空地よりはびこり来たる葛の蔓石堀越えて裏庭這え来ぬ
 幾千の葡萄穫り終へ「終わらせて頂きました」と一気の墨書
 浜茄子の小公園もて道断てり三厩集落北の外れは
 通り雨過ぐれば風呼び木々の葉のしづくうち振る夏との別れ
 刈り田野に北風吹きて暮れ早く遠き町の灯明るくともる
 幼等を両掌に二人背には負いこの一時の今を楽しむ
 メール打つ学生の列言葉なく着信響く午後のロードに
 猛暑さり秋海棠は花咲きて夏バテの庭息づき初む
 藍深く朝顔の咲く道を行く見知らぬ人も言葉かけくる
 愚直なる我を思へど糺せず一世の終り余白少なし
 夏風邪に臥すわれを孫案じつつ愛知県へと学会に行く
 弟は弟なりきでいくだろうつらく苦しい思いをしたろう
 嫁して二年帰省のたびに片付けに娘の部屋は脱け殻となる
 遠き日の母の姿を偲びつつ形見の紬我は纏ひぬ
 夫の手を借りてようやく切り分けしカボチャの甘し雨降る夕餉
 残照にうねりて光る枯尾花類打つものは秋の寒風
 大好な夕顔の苗一本植え二十個余りの豊かな収穫
 ほの暮れて佐渡の島影うつすらとイカ釣り船の灯ゆらぎて
 隣り家の靱乾燥機の響きよし且つての労働しのびつつ寝る
 遺跡ある神納平野の稲香り知恵に偏るわれら包み来

講師

秋山美喜雄 岩橋俊三 小野ハナ 小野眞智子 駒田文雄 近藤アキ 近藤トイ 斎藤經子 洪谷カツ子 丹呉ヤエ 津野ヨシ 豊島雪江 中村玉好 南雲敏美 平野増江 星尾美枝子 本田ヨセ 山口正幸 吉田エト 渡辺ルリ子 渡辺久仁子 阿部昌彦

お知らせ

聖籠町短歌会の阿部昌彦先生（講師）と会員の小野眞智子さんが、全国「大神神社、献詠会主催・第七回三輪山まほろば短歌大会」に於いて「秀作」を受賞しました。
 応募数四一五首の中、入選二十五名、秀作七十五名の中に選ばれたものです。
 尾崎左永子・選

秀作

瀬を上る若鮎の生むさぎ波が左右に揺れつつ煌めてゆく
 一瞬の心震わす目差しを核と秘そめて生き越しものを

阿部昌彦 小野眞智子

お目出とごさいます。心よりお祝い申し上げます。

今月の俳壇

※聖籠俳壇の作品を紹介しします。

平成二十二年十月の詠草

紅つけて総見に行く秋祭り
 傘寿の坂すたこら登る秋暑し
 秋祭り越後平野を練り歩き
 松籟や杜の深さも秋の風
 蟋蟀の響き合う音に一人酌む
 天高しひらりと庭に蝶参り
 車窓より眺むる越の稲穂かな
 夕暮れを待てずほろ酔ひ醉芙蓉
 風に乗り稲穂の香り海の村
 詩一つ捻り出せぬやリング剥く
 持つ鍬も重くなりたる老の秋
 秋祭り老も若さを取りもどし
 実る穂や雨に打たれて刈りにくき
 むべの実のなめらかにして雲流る
 稲刈りや稲架かけ昔思ひだす
 鰯雲ほかに遺るべき財もなく
 日も語り人恋しさや秋の風

八幡竹村 本田ヨセ 斎藤鉄信 渡辺ルリ子 松木由紀 石澤敏子 小林緑風 天尾壯一郎 宮下悦子 諏訪明子 長谷川節子 渡辺テツ子 曾根トク 豊島雪江 幾野重作 高橋秋荷 篠原キミエ

日	曜	生涯学習施設	スポーツ施設
12/1	水		⊗太極拳
2	木		⊗ヨガ
3	金		
4	土	(週末体験クラブ) サッカーで遊ぼう in 山倉	
5	日		第29回聖籠町親善剣道大会、第14回聖籠ビーチボール大会
6	月	休館日	休館日
7	火	ちいさなお話タイム (図書館内11:00~)	⊗エアロピクス、ピラティス
8	水	移動図書館車 (亀小)	⊗太極拳
9	木	移動図書館車 (山小)	⊗ヨガ
10	金	移動図書館車 (蓮小)	
11	土	(週末体験クラブ) サッカーで遊ぼう in 蓮野 移動図書館車 (藤寄・東山・亀塚児童館) 紙しばい会	⊗フリースポーツ
12	日		
13	月	休館日	休館日
14	火	ちいさなお話タイム (図書館内11:00~)	⊗エアロピクス、ピラティス
15	水		⊗太極拳
16	木		⊗ヨガ
17	金		
18	土	(週末体験クラブ) とび出す年賀状	
19	日		
20	月	休館日	休館日
21	火	ぐるんぱの部屋 (図書館)	⊗エアロピクス、ピラティス
22	水		⊗太極拳
23	木	天皇誕生日 図書館休館日	
24	金		
25	土		第12回中学校選抜バスケットボール大会 (1日目)
26	日		第12回中学校選抜バスケットボール大会 (2日目)
27	月	休館日	休館日
28	火	休館日	休館日
29	水	休館日	休館日
30	木	休館日	休館日
31	金	休館日	休館日

※ 上記予定は、変更する場合があります。詳しくは、町民会館またはスポネットせいろうへお問い合わせください。
(問合せ先は、いずれも☎0254-27-2121までお願いいたします。) ※⊗は、「NPO法人 スポネットせいろう」の略。

編集の窓から

時代が呼吸を忘れていくかのよう
な、何ともいえない雰囲気。今の
日本を覆っています。小さな島
国・日本が、平面の世界地図の上
で震えているように見えてしま
います。

海上に異国の船もなく、ただ国の
内側さえ見れば良かった時代
もありながら、今は目に見えない
もので世界が瞬時につながります。

「日本は辺境人として生きてい
く覚悟を決めよう」と提言した書
も最近ありましたが、そうは言っ
てもすぐ近くで恫喝まがいの振
る舞いをする国が存在し、国土も
危うい。戦略的云々などと、もう
具合が悪くなるから同じ言葉ばか
り言わないで欲しいと思うので
す。が、なんとかなりませんか？ 国と
国の主張のぶつかりあいが、そん
な甘いわけがないでしょう。

外国に弱いのは日本の伝統です
かね？でも、誰でも世界の情報に
触れられる現代で、言うべきこと
は言う、これはチャンスでしょ
う。情報網に乗って、世界中の人
が聞いてくれる。

日本の美徳は美徳として、国と
してこれからどう進むのか、方向
を定めていかないと……。今
回はとりとめのない愚痴にな
ってしまいました。反省……。

(M)

1日子ども図書館員を初体験!

10月30日(土)、「1日子ども図書館員」を開催しました。山倉小学校5年生、吉田奏さん・中山紅美子さん・蓮野小学校5年生、増田萌さん・三浦圭織さんの4人が元気よく参加してくれました。



掘館長から1日子ども図書館員の任命書もらい、仕事に取り掛かります。はじめに図書館の開館準備。朝9時までに拭き掃除やブックポストの回収・カウンターの準備をします。



今回は、カウンターの貸出・返却の仕事と食育をテーマとした本探し、1日子ども図書館員おすすめの本の選書をしてもらいました。



本のバーコードを読み取る作業はなかなか普段ではできないこと。子ども図書館員はてきぱきとこなします。

仕組みを学び、地図をみながら本を探します。たくさんの中から1冊を探すのはなかなか大変だったようです。

本を利用者にアピールする仕事も図書館員として大切なお仕事。子ども図書館員も本を目立たせるために本の帯を作りました。児童コーナーに展示してあります。



最後に、全員でおはなし会を館内の児童コーナーにて開きました。手遊びと読み聞かせを役割分担。みんなでそれぞれ練習して、成果を発揮。小さなお客さんから大人のお客さんまで、大勢のお客さんが集まりました。

1日子ども図書館員の皆さん、おつかれさまでした。

1日子ども図書館員～感想～

- 初めてカウンターの機械に触り、新聞を並べ、オヌヌメの本を飾りました。楽しかったです。図書館の司書の人達は多くの仕事をしてとても大変だとわかりました。(山小・吉田 奏)
- 読み聞かせでは緊張したけど、きちんとできてよかったです。また体験してみたいです。(山小・中山紅美子)
- 返却本の判子押しと本のバーコードを読み取る「ピッ」をすることが一番楽しかったです。緊張したのは大勢の人の前で紙芝居を読んだことです。(蓮小・増田 萌)
- 図書館員を終えて、楽しかったところは本の返却で、難しかったところは本を探すところです。最後まで楽しくできました。(蓮小・三浦 圭織)



たくさんの拍手をもらい、大成功!

「図書館員のおすすめの本」 No.1



『ノーブルとの約束 介助犬を夢見た700日』

桜井 昭生/著 主婦と生活社

「介助犬」を広めたいと夢をあきらめなかった介助犬訓練士の桜井さん。そして、九州初の介助犬を目指し、命が燃えつきるまで、精一杯訓練に挑み続けたラブラドルの「ノーブル」。

2人の出会いから別れまでを綴っています。

ノーブルの澄んだ瞳は真っすぐで純粋です。



毎年、秋の読書週間に「図書館員のおすすめの本」を展示しています。今回は約40冊のおすすめ本を展示しました。多くの利用者みなさんが手に取り、借りていかれました。そこで、今回から「図書館員のおすすめの本」を随時、紹介していきます。